

令和7年度

授業計画

Syllabus 2025



日本大学藤沢高等学校

NIHON UNIVERSITY Fujisawa Senior High School



日本大学藤沢中学校

NIHON UNIVERSITY Fujisawa Junior High School



日本大学藤沢中学校

NIHON UNIVERSITY Fujisawa Junior High School

— 第3学年 —

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	国語	4	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『新しい国語3』（東京書籍）	『常用漢字ダブルクリア四訂版』（尚文出版） 『サクセスコーチ国語3年』（学友社） 『まんがで理解 楽しい文法』（とうほう） 『二訂版 カラー 小倉百人一首』（京都書房）

1. 学習の目標

文章を速く正確に、精密に読む訓練をする。また語彙を拡充し、表現の幅を広げる。さらに古典読解のための知識（古文単語・漢文訓点・文法）を広げ、言葉に対する感受性を養い、伝統文化への理解を促進する。

2. 評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。	国語の知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けようとしている。	国語への関心が高く、自らの学習状況を把握し、自らの学習を調整しながら学ぼうとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	実力問題	過去問題の演習をして実力問題に慣れようとしている。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
		生命は	詩の意味や効果的な表現を捉え、読み方を工夫して音読する。	
		レモン哀歌	効果的な表現に注意して詩を読む。詩に描かれた生と死について考え、感想を持つ。	
		俳句の読み方、味わい方	表現の工夫に注意して、筆者の考えを捉える。俳句の句風に注目して、俳句を読み味わう。	
	5	和語・漢語・外来語	和語・漢語・外来語について理解する。	
		古典基礎	歴史的仮名遣い・古文の用言の活用・漢文の返り点について復習する。	
		絶滅の意味	論の進め方に注意して、筆者の主張を捉える。人間社会との関わりについて考え、自分の考えを持つ。文章に表れている考えを捉え、吟味する。文章を読んで自分の考えを持ち、議論の仕方を踏まえて話し合う。	
	6	万葉集, 古今集, 新古今集	和歌のリズムに注意して音読するとともに、歴史的背景などに注意して、それぞれの和歌に込められた意味を捉える。それぞれの歌集の歌風を学ぶ。	
		連語・慣用句	連語や慣用句について理解する。	
		古典基礎	歴史的仮名遣い・古文の用言の活用・漢文の返り点について復習する。	
	7	問題集	問題演習を通して、総合力を磨く。	

2	9	百科事典少女 おくの細道 言葉の移り変わり	登場人物の言動の意味に注意して、作品を読み味わう。場面ごとの人物の考えや人物どうしの関係を捉えて、作品を読み味わう。 有名な冒頭文を学び、暗唱する。 当時の状況や作者の思いを捉え、古人の考え方を場面の展開や表現の仕方に着目し、作品を批評する。 言葉の変化について理解する。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	10	古典基礎 条件スピーチ	歴史的仮名遣い・古文の用言の活用・漢文の返り点について復習する。 自分の思いや考えを伝えるためには、どのように工夫できるかを考える。	
	11	故郷 論語 古典基礎	登場人物の思いについて考えながら、作品を読み深める。作品を読んで考えを深め、社会の中で生きる人間について、自分の意見を持つ。 繰り返し音読して漢文に慣れる。書き下し文を学ぶ。 歴史的仮名遣い・古文の用言の活用・漢文の返り点について復習する。	
	12	問題集	問題演習を通して、総合力を磨く。	
3	1	いつものように新聞が届いた 間違いやすい敬語	情報の意義とメディアについて考える。 災害時における情報の価値やメディアの役割について考える。 多様な考えを想定し、伝えたい内容につて検討する。 進行の仕方を工夫したり、お互いの意見を生かしたりして話し合い、合意を形成する。 間違いやすい敬語に注意し、適切な敬語の使い方を理解する。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	2	問題演習	問題演習を通して、総合力を磨く。	
	3	問題演習	問題演習を通して、総合力を磨く。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
社会	社会	4	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『新しい社会 歴史』（東京書籍） 『新しい社会 公民』（東京書籍）	『よみとき総合歴史 神奈川県版』（浜島書店） 『中学実力練成テキスト 社会歴史』（文理） 『最新 公民資料』（浜島書店） 『中学実力練成テキスト 社会 全』（文理）

1. 学習の目標

現代の社会的現象に対して関心を深め、様々な資料を多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を養い、公民的資質を修得する。国際社会に生きる現代人として社会の諸問題に着目し、人類の福祉の向上のための方策を自ら考えることができるようになる。

2. 評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
1つの社会的事象に関する基礎的な内容の理解や、意義の理解、その歴史的背景など、多面的・多角的に理解し、知識を身に付けている。また、提供された資料を適切に選択し、活用するとともに、それらを追求し、考察した過程や結果を適切に表現する。	社会的事象から課題を見出し、その意義や特色、他の事象との相互の関連性を考え、健全で公正な判断力を持ち、自らの生き方についても考えることができるようになり、必要な場面で自分の考えを表現出来るようになる。	社会的事象に対する関心を高め、意欲的に追及し、よりよい社会実現を考察し、公民としての自覚と責任を持つとする。課題に対して自発的に学習に取り組み、自分の考えを組み立てる態度を追求できるようになる。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第6章 二度の世界大戦と日本 1節 第一次世界大戦と日本 2節 大正デモクラシーの時代 3節 世界恐慌と日本の中国侵略	[歴史的分野の継続] ・第一次世界大戦の原因や概要について考え、帝国主義などの背景や現在まで続く民族問題についても関心を持つ。 ・日本の大正時代の様子について、大正デモクラシーや多くの民衆運動を通して調べ、考える。 ・世界恐慌の原因について理解し、各国の対応の違いを考え、ファシズムの台頭について自分の意見を持つ。 ・日本の大陸進出、軍国主義化の経緯を、地図などを用いて具体的に理解する。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験の成績 出席状況 行動観察 ポートフォリオへの入力
	5	第7章 現代の日本と世界 1節 戦後日本の発展と国際社会 2節 新たな時代の日本と世界 第1章 現代社会と私たち 1節 現代社会の特色と私たち 2節 私たちの生活と文化	・敗戦後の日本を、民主化政策や憲法制定を中心に理解し、世界の中の日本の立場を考える。 ・東西対立など揺れ動く国際情勢の理解を深める。 ・高度経済成長期以降の日本の歩みを理解し、21世紀の日本と世界について考える。 [公民的分野の開始] ・様々な資料から、現代日本の特色や、現代社会における文化の意義について読み取り、現代社会をとらえる力を育てる。 ・現代日本の特色としてグローバル化、情報化、少子高齢化などが見られ、それらが政治、経済、国際関係に影響を与えていること、又現代社会における文化の意義や影響について理解する。	
	6	3節 現代社会の見方や考え方	・現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方があることを、具体的な社会生活と関連付けて理解する。	

		第2章 個人の尊重と日本国憲法 1節 人権と日本国憲法 2節 人権と共生社会	・個人の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に、具体的な学習活動などを通して意欲的に追究するとともに、法の意義を理解する。 ・日本国憲法の基本原理（国民主権、平和主義、基本的人権の尊重）を、社会の形成者としての立場から、具体的な生活とのかかわりを通じて理解する。	
	7	3節 これからの人権保障	・個人の尊厳と両性の本質的平等、自由・権利と責任・義務の関係が社会生活の基本となっていることに気付く。 ・現代社会の様々な人権課題の解決や、共生社会の実現に向けての取り組みに、社会の形成者として積極的にかかわろうとする態度を育てる。	
2	9	第3章 現代の民主政治と社会 1節 現代の民主政治 2節 国の政治の仕組み	・選挙をはじめとする国民の政治参加によって、より良い民主政治が運営されることに気付き、良識ある主権者としての政治参加のあり方について考える。 ・国会を中心とする日本の民主政治の仕組みや、地方自治の考え方を理解し、法の意義や公正な裁判について理解する。 ・新聞記事や統計資料などを活用し、現実の政治の動きを多面的・多角的にとらえる。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験の成績 出席状況 行動観察 ポートフォリオへの入力
	10	3節 地方自治と私たち 第4章 私たちの暮らしと経済 1節 消費生活と市場経済 2節 生産と労働 3節 市場経済の仕組みと金融 4節 財政と国民の福祉 5節 これからの経済と社会	・地方自治の考え方を理解し、住民自治の意義などについて考える。 ・経済活動が、人間生活の維持・向上に欠かすことのできないものである事を、身近な消費生活を通して理解する。 ・無限で多様な人々の欲求に対し、社会の資源は有限であり、その資源からどの財やサービスを生産するのかを価格を考慮して選択するという、市場経済の基本的な考えを理解し、現代の生産や金融の仕組みや働き、企業の役割と責任について考える。 ・統計資料や図、新聞記事などの様々な資料を収集・選択したり、読み取ったり、その結果をわかりやすくまとめ、表現したりする学習を通し、経済的事象をとらえる見方や考え方の基礎を養う。	
	11	第5章 地球社会と私たち 1節 国際社会の仕組み 2節 さまざまな国際問題	・国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国国民が協力し合うことが重要であることを認識する。 ・持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を探究することを通して、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方を身に付ける。	
	12	3節 これからの地球社会と日本	・国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し表現する。	
3	1	終章 より良い社会を目指して 中学3年間の総復習	・持続可能な社会のために、自分たちに何ができるかを考えることを通し、社会参画するための手がかりを得る。 ・自分たちが生きる現代社会を概観し、学ぶことで、公民的分野への関心を高め、これ以降の学習につなげる。 ・中学3年間の全復習を通じ、知識の整理と系統立てを完成させ、高校進学への準備とする。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験の成績 出席状況 行動観察 ポートフォリオへの入力
	2	中学3年間の総復習・問題演習	・中学3年間の全復習を通じ、知識の整理と系統立てを完成させ、高校進学への準備とする。 ・地理的分野、歴史的分野との関連を図るとともに、様々な条件や要因からとらえさせるなど、多面的・多角的に考える。	
	3	総括	・問題演習を通じて、中学3年間で学習した地理的分野、歴史的分野及び公民的分野の総復習をし、特進選抜試験に向けての準備とする。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学	6	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『新しい数学3』(東京書籍)	『システム数学② 幾何・統計編』(啓林館) 『システム数学② 幾何・統計編 問題集』(啓林館) 『高校受験対策 実践トライアル6+6』(育伸社)

1. 学習の目標

数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学を主体的に生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善しようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成する。

2. 評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数値化したり、数学的に表現・処理したりしている。	数量や図形などの性質を見だし論理的・発展的に考察する力を養い、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現している。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養い、自ら問題解決の過程を振り返って評価・改善している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	『システム数学 幾何・統計編②』 第1章 図形と相似 第2章 円の性質	1節 平行線と線分の比 1. 平行線と線分の比 2. 中点連結定理 3. 三角形と線分の比 1節 円 1. 円と直線 2. 2つの円 【習熟度】 学力推移調査対策	授業への取り組み 定期試験 授業内テスト 小テスト
	5	第2章 円の性質	2節 円周角 1. 中心角と円周角 2. 円に内接する四角形 2節 円周角 3. 接線と弦のなす角 4. 方べきの定理 【習熟度】 学力推移調査対策	
	6	第3章 三平方の定理	1節 三平方の定理 1. 三平方の定理 2節 三平方の定理の応用 1. 平面図形への応用 2. 空間図形への応用 【習熟度】 学力推移調査対策	

	7	第4章 確率と標本調査	2節 標本調査 1. 標本調査 【習熟度】 学力推移調査対策	
2	9	数学 I 図形と計量	1. 三角比 ①三角比 ②三角比の相互関係 ③三角比の拡張 【習熟度】 学力推移調査対策	授業への取り組み 定期試験 授業内テスト 小テスト
	10	数学 I 図形と計量	2. 三角形への応用 ①正弦定理 ②余弦定理 ③正弦定理と余弦定理の応用 【習熟度】 高校一般入試対策	
	11	数学 I 数と式	第1節 式の計算 ①整式 ②整式の加法と減法および乗法 ③因数分解 (発展) 3次式の展開と因数分解 第2節 実数 ④実数 ⑤根号を含む式の計算 (発展) 2重根号 【習熟度】 高校一般入試対策	
	12	数学 I 数と式	第3節 1次不等式 ⑥1次不等式 ⑦1次不等式の利用 (発展) 絶対値と場合分け 【習熟度】 高校一般入試対策	
3	1	数学 I 第2章 2次関数	3年間の復習 第1節 関数とグラフ 【習熟度】 高校一般入試対策	授業への取り組み 定期試験 授業内テスト 小テスト
	2	数学 I 第2章 2次関数	3年間の復習 第2節 2次関数の最大・最小 【習熟度】 高校一般入試対策	
	3	数学 I 第2章 2次関数	第3節 2次関数と方程式・不等式 【習熟度】 通常授業の復習	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	理科(化学・生物)	2.5	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『未来へ広がるサイエンス3』(啓林館)	『中学実力練成テキスト 理科学(新訂版)』(日本教材出版), 『最新理科便覧』(浜島書店)

1. 学習の目標

化学的な事柄・現象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を習得する。

生物的な事柄・現象についての観察・実験などを行い、動物の生活やからだのつくりの多様性と共通性を理解し、動物を探究する能力と態度を育てるとともに動物に対する興味・関心を高めることにより、動物に対する愛情を深め、生命を尊重する態度を習得する。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
授業、観察、実験などを通して科学的な事柄・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。科学的な事柄・現象に関する観察・実験の技能を習得し、科学的に探究する方法を身に付けている。	科学的な事柄・現象の中に問題を見出し、観察、実験などを行い、事象を実証的・論理的に考察することにより問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断している。過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現している。	授業、観察、実験などを通して科学的な事柄・現象に関心や探究心をもち自主的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	生命の連続性 1章 生物の増え方と成長	生物の細胞の成長と分裂の仕組みを学習する。 植物の増え方を細胞の視点から学習する。 動物の増え方を細胞の視点から学習する。	授業への取り組み 定期試験 提出物 小テスト
	5	2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と進化	細胞の染色体の仕組みから分裂と遺伝について学習する。 生物の進化について学習する。 生物どうしのつながりを食物連鎖の視点から学習する。 自然界の炭素や酸素の移動を学習する。	
	6	自然と人間 1章 自然界のつながり 2章 さまざまな物質の利用と人間	自然界のつながりはどう保たれているのか学習する。 身近な自然環境を調査を行い、自然環境の問題、地域の自然災害について学習する。 さまざまな物質の利用について学習する。	
	7	4章 人間と環境	自然と人間との関わりについて学習する。	
2	9	化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン	水溶液に電気が流れる仕組みやイオン・原子を学習する。	授業への取り組み 定期試験 提出物 小テスト
	10	2章 電池とイオン	化学変化により電気を取り出す仕組みについて学習する	
	11	3章 酸・アルカリと塩	化学変化によりどのように物質を取り出すのか酸化・還元を例にして学習する。	
	12	中学理科の総復習	高校に向け、中学3年間で学習した生物・化学分野について問題演習を通じて理解を深める。	
3	1	中学理科の総復習	高校に向け、中学3年間で学習した生物・化学分野について問題演習を通じて理解を深める。	授業への取り組み 定期試験 提出物 小テスト
	2	中学理科の総復習	高校に向け、中学3年間で学習した生物・化学分野について問題演習を通じて理解を深める。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	理科（物理・地学）	2.5	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『未来へひろがるサイエンス3』（啓林館）	『中学実力練成テキスト 理科学（新訂版）』（日本教材出版）、 『最新理科便覧』（浜島書店）

1. 学習の目標

様々な現象に疑問を持ち、実験から原理を学び、論理的に現象を理解できるようにし、授業での知識を問題演習により整理し、定着する。

2. 評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
基礎的な知識を身に付け、表・グラフの整理、数値を用いた問題を解けている。	物理的な思考を身に付け、現象を論理的に説明できる。	授業に積極的に取り組み、提出物を提出している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	運動とエネルギー	1章「力の合成と分解」 ・水中の物体にはたらく力 ・力の合成 ・力の分解 2章「物体の運動」 ・運動の表し方 ・水面上での物体の運動 ・斜面上の物体の運動 ・物体間での力の及ぼしあい	定期試験 提出物 授業への取り組み 小テスト
	5	運動とエネルギー	3章「仕事とエネルギー」 ・仕事 ・エネルギー ・位置エネルギーと運動エネルギー 4章「多様なエネルギーとその移り変わり」 ・エネルギーの種類 ・エネルギーの変換と保存 ・熱の移動	
	6	運動とエネルギー	5章「エネルギー資源とその利用」 ・生活を支えるエネルギー ・エネルギー利用上の課題	
	7	運動とエネルギー	・エネルギーの有効活用	
2	9	宇宙を観る	1章「地球から宇宙へ」 ・地球、月、太陽 ・太陽系 ・宇宙の広がり	定期試験 提出物 授業への取り組み 小テスト
	10	宇宙を観る	2章「太陽と恒星の動き」 ・太陽の動き ・星座と星の動き	
	11	宇宙を観る	3章「月と金星の動きと見え方」 ・月の動きと見え方	
	12	宇宙を観る	・金星の動きと見え方	

3	1	中学理科総復習・高校 1 年生先取り学習	・プリント演習 ・小テスト ・有効数字、指数 ・運動の表し方	定期試験 提出物 授業への取り組み 小テスト
	2	中学理科総復習・高校 1 年生先取り学習	・プリント演習 ・小テスト ・運動の表し方	
	3	中学理科総復習・高校 1 年生先取り学習	・プリント演習 ・小テスト ・運動の表し方	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
保健体育	保健体育	3	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『最新 中学校保健体育』(大修館書店)	『健康手帳』(神奈川県学校保健連合会)

1. 学習の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習活動を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質や能力を次のとおり育成することを目指す。また、各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けつつ、運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養いながら、生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を身に付ける。

2. 評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるように運動や体力の必要性について理解している。また、個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。	競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度を身に付けている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	○体づくり運動 ・ラジオ体操 ・集団行動 ○新体力テスト	ラジオ体操第一 整列、方向転換、列の整とん・増減、人員点呼、行進 50M 走、持久走、ハンドボール投げ、立ち幅跳び、握力、長座体前屈、反復横跳び、上体起こし	授業への取り組み 提出物 実技試験 行動観察 定期試験
	5	○新体力テスト ○球技 男子：(選択) ・タッチラグビー ・T ボール 女子：(必修) ・バレーボール ○保健	50M 走、持久走、ハンドボール投げ、立ち幅跳び、握力、長座体前屈、反復横跳び、上体起こし ・ハンドリング、パス(ストレートパス、スクリーンパス、キックパス)、キック、簡易ゲーム、試合 ・守備(捕球・送球)、打撃、簡易ゲーム、試合 ・パス、レシーブ、サーブ、スパイク、簡易ゲーム、試合 1. 感染症と病原体 2. 感染症と体の抵抗力 3. 感染症の予防 4. 性感染症とその予防	
	6	○水泳 ○保健	自由形、平泳ぎ、背泳ぎ(タイム測定)、キック、ストローク、呼吸、コンビネーション 5. エイズとその予防 6. 保健機関とその利用 7. 医療機関とその利用	

	7	○保健	8. 医薬品の正しい使い方 ※保健は天候等により適宜実施	
2	9	○武道：(選択) ・剣道 ・柔道 ○保健	・2年次の復習(礼法、足さばき、素振り、空間打突(応用)、竹刀で受ける打ち込み、防具の着脱) ・防具をつけての打突と受け方(基本打突) ・約束稽古 ・2年次の復習(礼法、受け身、寝技、体さばき等) ・受け身、足技、腰技、手技 ・約束乱取 1. 環境の変化への体の適応 2. 気象情報の適切な利用	授業への取り組み 提出物 実技試験 行動観察 定期試験
	10	○武道：(選択) ・剣道 ・柔道 ○ダンス ・ソーラン節 ○保健	・2年次の復習(礼法、足さばき、素振り、空間打突(応用)、竹刀で受ける打ち込み、防具の着脱) ・防具をつけての打突と受け方(基本打突) ・約束稽古 ・2年次の復習(礼法、受け身、寝技、体さばき等) ・受け身、足技、腰技、手技 ・約束乱取 ・体育祭練習(オリジナル演技) 3. 快適で能率のよい環境 4. 室内の空気の汚染と換気 5. 衛生的な飲料水の供給	
	11	○球技 男子：(必修) ・バレーボール 女子：(選択) ・タッチラグビー ・Tボール ○保健	・パス、レシーブ、サーブ、スパイク、簡易ゲーム、試合 ・ハンドリング、パス(ストレートパス、スクリーンパス、キックパス)、キック、簡易ゲーム、試合 ・守備(捕球・送球)、打撃、簡易ゲーム、試合 6. し尿とごみの処理 7. 災害と環境	
	12	○保健	8. 私たちの生活と環境問題 ※保健は天候等により適宜実施	
3	1	○陸上競技 ・長距離走 ○体育理論	・グラウンド周回コース、記録測定 1. 現代生活におけるスポーツの意義	授業への取り組み 提出物 実技試験 行動観察 定期試験
	2	○器械運動(選択) ・マット ・跳び箱 ○体育理論	・1年次の復習(前転、後転、開脚前転・後転、平均立ち技群) ・倒立前転、側方倒立回転等、発展技、発表会 ・2年次の復習(開脚跳び、台上前転) ・閉脚跳び等、発展技、発表会 2. 国際的なスポーツ大会の意義と役割	
	3	○体育理論	3. 人びとを結ぶスポーツ ※体育理論は天候等により適宜実施	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
音楽	音楽	1	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『中学生の音楽 2・3下』（教育芸術社） 『中学生の器楽』（教育芸術社）	なし

1. 学習の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。

2. 評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わったり聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	歌唱	「花」について学習する。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて学習する。 リズム、テクスチャ、強弱を理解し、創意工夫を生かし、曲にふさわしい歌唱表現を模索する。	授業への取り組み 提出物 実技試験 定期試験
	5	実技試験 楽典	「花」の歌唱試験を行う。 音符や休符、記号や用語について学習する。	
	6	器楽	アルトリコーダーについて学習する。 奏法、体の使い方、演奏する技能を習得する。	
	7	創作	リズムパターンを創作する。 リズム、テクスチャ、強弱、構成を理解し、思いや意図をもって創作する。	
2	9	鑑賞	「ブルタバ（モルダウ）」の鑑賞を行う。 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて学習する。	授業への取り組み 提出物 実技試験 定期試験
	10	器楽 合唱	アルトリコーダーについて学習する。 奏法、体の使い方、他者と合わせて演奏する技能を習得する。 合唱コンクールの課題曲、自由曲の練習を行う。 パート練習を中心に行う。	
	11	実技試験 合唱	アルトリコーダーの実技試験を行う。 合唱コンクールの課題曲、自由曲の練習を行う。 パート練習、全体練習を行う。	
	12	合唱	合唱コンクールの課題曲、自由曲の練習を行う。 ハーモニーを習得する。	

3	1	合唱	合唱コンクールの課題曲，自由曲の練習を行う。 強弱などの表現を習得する。	授業への取り組み 提出物 実技試験 定期試験
	2	合唱 実技試験	合唱コンクールの課題曲，自由曲の練習を行う。 曲全体の表現の仕方を工夫する。 合唱コンクール課題曲の実技試験を行う。	
	3	復習	1年間のまとめを行う。	

※ 上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
美術	美術	1	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『美術2・3』（光村図書）	なし

1. 学習の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

また、造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。さらに美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培うようにする。

2. 評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	【デザイン】 ・ドリンクボトルのデザイン	オリジナルのドリンクボトルのデザインを制作する。	授業への取り組み 提出物 出席状況 定期試験
	5	【デザイン】 ・ドリンクボトルのデザイン	オリジナルのドリンクボトルのデザインを制作する。	
	6	【デザイン】 ・ドリンクボトルのデザイン	オリジナルのドリンクボトルのデザインを制作する。	
	7	【デザイン】 ・ドリンクボトルのデザイン	オリジナルのドリンクボトルのデザインを制作する。	

2	9	【絵画】 ・思い出を形に	修学旅行をテーマに屏風を制作する。	授業への取り組み 提出物 出席状況 定期試験
	10	【絵画】 ・思い出を形に	修学旅行をテーマに屏風を制作する。	
	11	【絵画】 ・思い出を形に	修学旅行をテーマに屏風を制作する。	
	12	【絵画】 ・思い出を形に	修学旅行をテーマに屏風を制作する。	
3	1	【立体】 ・物語の制作	自分で考えた立体を制作し、各面に白黒で物語を考え、制作する。	授業への取り組み 提出物 出席状況 定期試験
	2	【立体】 ・物語の制作	自分で考えた立体を制作し、各面に白黒で物語を考え、制作する。	
	3	【立体】 ・物語の制作	自分で考えた立体を制作し、各面に白黒で物語を考え、制作する。	

※ 上記の内容は、各クラスの時間割によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
外国語	英語	6	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『NEW TREASURE STAGE 2』(Z会出版) 『Sunshine English Course 3』(開隆堂)	『NEW TREASURE STAGE 2 CDs for Students』(Z会出版), 『NEW TREASURE STAGE 2 文法問題集』(Z会出版), 『NEW TREASURE 英単語 STAGE 2』(Z会出版), 『キクジュク (中学英熟語)』(アルク) 『中学まるまるリスニングBOOK』(三省堂) 『Sirius 21 英語 Vol.3』(育伸社)

1. 学習の目標

正しい英語の音を理解し、聴き分け、発音できるようになる。その結果、リーディング・ライティング力と差のないリスニング、スピーキング力を身に着ける。また、基本的な英文法を理解した上で、反復トレーニングを行い、実践的な運用力を獲得する。さらに短時間で情報を読み取り、自分の考えを論理的に伝えられるようになる。

2. 評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている	身近な話題について、他教科等での学習内容等と関連付けながら、互いの考えを適切に伝え合っている。	他者を尊重し、聞き手・読み手に配慮しながら、身に着けたことを活用して、自分の意見や考えなどを表現しようとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	名詞の種類 不定代名詞	・様々な名詞の種類と用法が理解できる。 ・様々な不定代名詞の意味と用法が理解できる。	定期試験 提出物 小テスト 授業への取り組み
	5	再帰代名詞 後置修飾 分詞の形容詞用法	・再帰代名詞の用法が理解できる。 ・名詞が後ろから修飾されがちなことを認識する。 ・前置修飾と後置修飾を使い分ける。 ・現在分詞と過去分詞の違いを理解する。	
	6	関係代名詞	・関係代名詞のメカニズムを理解する。 ・主格と目的格の用法を理解する。 ・省略や that についても理解する。	
	7	復習		
2	9	不定詞の発展的用法	・It ～ for - to …を用いた文を作れる。 ・疑問詞+to …の用法を身につける。 ・SV0 to … や原形不定詞の用法を身につける。 ・too や enough をからんだ不定詞を理解する。	定期試験 提出物 小テスト 授業への取り組み
	10	間接疑問文 付加疑問文 仮定法	・間接疑問文や付加疑問文を使った文が作れる。 ・仮定法の基本イメージを掴む。 ・仮定法過去の文を身につける。	
	11	中学3年間の復習 (選抜試験対策を兼ねる)	・文法の項目別演習 ・語彙の総まとめ ・リスニングトレーニング ・習熟度別リーディング演習	

	12	中学3年間の復習 (選抜試験対策を兼ねる)	・文法の項目別演習 ・語彙の総まとめ ・リスニングトレーニング ・習熟度別リーディング演習	
3	1	中学3年間の復習 (選抜試験対策を兼ねる)	・文法の項目別演習 ・語彙の総まとめ ・リスニングトレーニング ・習熟度別リーディング演習	定期試験 提出物 小テスト 授業への取り組み
	2	中学3年間の復習 (選抜試験対策を兼ねる)	・文法のランダム演習 ・語彙の総まとめ ・リスニング演習 ・習熟度別リーディング演習	
	3	中学3年間の復習 (選抜試験対策を兼ねる)	・文法のランダム演習 ・語彙の総まとめ ・リスニング演習 ・習熟度別リーディング演習	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
技術・家庭	家庭分野	1	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生をめざして』（東京書籍）	なし

1. 学習の目標

自分の成長の道筋を振り返り、家族一人ひとりの生活や役割は、家族の構成により変化するということを学び、その変遷をライフステージとともに理解する。家庭生活と消費では、現代社会に氾濫している多くの商品から、本当に必要な物、良い商品を選択できるようにする。また、消費生活の中で起こるトラブルについて学び、その対処の方法を理解する。

2. 評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
自分の生活について関心を持ち、充実・向上を目指し主体的に取り組もうとする実践的な態度を身に付けている。	さまざまな分野で課題を見いだしてその解決を目指し自分なりに工夫し、創造している。	生活や技術に関する知識・技能を身につけ生活を充実・向上するために主体的に実践しようとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	幼児の生活と家族	幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解する。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 出席状況
	5	幼児の体の発達	幼児の発達の個人差、運動機能、生理的機能について理解する。	
	6	幼児の心の発達	情緒・社会性・言葉がどのような流れで発達していくのかを理解する。	
	7	幼児の生活習慣の習得	基本的生活習慣、社会的生活習慣を支える家族の役割について理解する。	
2	9	幼児の生活と遊び	1日の生活を振り返り、幼児の観察や遊びの道具の製作などを通して遊びの意義について理解する。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 出席状況
	10	幼児のかかわり方 家族・家庭と地域	幼児と触れ合うなどの活動を通して関心を深める。自分の成長と家族や家庭との関わりについて考える。	
	11	家族と家族関係	家庭や家族の基本的な機能について知り、家庭や家族の大切さについて考える。	
	12	私たちの消費生活	自分や家族の消費生活を振り返り、適切な消費生活を知る。	
3	1	商品の選択と購入	商品購入時に活用できるように、表示や各種のマーク、様々な販売方法、支払方法などを学ばせ、消費生活の中で起こるトラブルやその対処の方法を理解し、日々の生活で注意する。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物 出席状況
	2	環境に配慮した生活	大量生産、消費を見直し環境や資源を守る方法を考える。	
	3	消費者の権利と責任	消費者の権利と責任について理解する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
道徳	道徳	1	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『中学道徳3 きみが いちばん ひかるとき』 (光村図書出版)	なし

1. 学習の目標

よりよい生き方を探り、人間としての生き方を考える視点で自分の学びを確認するとともに、現実の中で迷ったとき、今までに何を学んできたかを考察する。

2. 評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
自分の意見を冷静に、秩序立てて表明できている。	他人の意見を尊重し、多角的に物事を見て判断する姿勢が身についている。	自ら積極的に考える姿勢を持てている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1 導入	道徳科の学びの見通してをたて、これからの学びを広げたり、深めたりする態度を身に着ける。	授業への取り組み 提出物 行動観察 観点別評価は行わない。
		2 向上心・個性の伸長	好きな少女の前で、本当の自分をさらけ出せないと悩む少年の物語を通して、「自分」を見つめさせ、かけがえのない自分を肯定的に捉え、充実した生き方をしていこうとする心情について考える。	
	5	3 節制, 節度	漫画家・秋本治さんの文章を通して、望ましい生活習慣がもたらすものとは何かを考える。	
		4 友情, 信頼	水泳の全国大会を目ざす生徒とライバルとの交流を通して、友達とはどんな存在かを考え、互いに高め合うことのできるような人間関係を築こうとする。	
		5 礼儀	礼儀正しい言葉遣いやしぐさを書き出したり、柔道の選手のオリンピックでのエピソードを読んだりすることを通して、礼儀正しさは、人に何を伝えるかを考える。	
	6	6 生命の尊さ	「リクエスト食」に取り組むホスピスの話を通して、命を大切にすることはどういうことかを考える。	
		7 公正, 公平, 社会正義	魯迅の小説を通して、公正な社会をつくるのは人々のどんな考え方を考える。	
2	9	8 自主, 自律, 自由と責任	孤立する同級生に声をかけたものの、友人の目を気にして離れた主人公の姿を通して、誠実に行動することはどうして大切なのかについて考える。	授業への取り組み 提出物 行動観察 観点別評価は行わない。
		9 相互理解, 寛容	対照的な性格の生徒の姿を描いた漫画を通して、他者とわかり合うために必要なことは何かを考える。	
		10 よりよい学校生活, 集団生活の充実	合唱祭の在り方についての解決策を検討し、大切なこととは何かを考える。	
		11 思いやり, 感謝	末期がんの患者と看護師たちとのやり取りが描かれた文章を通して人をおもうことについて考える。	
		12 自然愛護	自然を大切にしながら生活していくためにはどんな考えが必要かを考える。	
		13 向上心, 個性の伸長	「自分を輝かせる言葉」を通して、自己を見つめ、自分らしく生きるためのヒントを手に入れる。	
		14 勤労	水族館のさまざまな職種に従事する人たちの仕事への思いを通して、どんな姿勢が社会や組織を動かしているのかを考える。	

	10	15 感動, 畏敬の念 16 生命の尊さ	人は、どんなものに心を動かされるのかを考え、時を超えてつながる思いや美しいもの、気高いものを感じる心を知る。 生まれてきた子への思いをつづった文章を通して、命について考え、かけがえのない命を尊重する心情を育てる。	
		17 遵法精神, 公德心 18 自主, 自律, 自由と責任 19 家族愛, 家庭生活の充実	映画の無断投稿について考える話を通して、他者の権利を守るために大切なことについて考える。 インターネットで人々がつながる社会を生きるためには、どんな考え方が必要かを考える。 家族とはどのようなものかを考え、自分なりの理想の家族を思い描き、よい家庭生活を築く心を学ぶ。	
		20 郷土の伝統と文化 21 国の伝統と文化 22 社会参画, 公共の精神	郷土を愛する心について考え、地域社会の一員として郷土の発展に努めようとする心情を学ぶ。 日本の文化を知り、継承することの意味を考え、優れた伝統と新しい文化を創造していこうとする心情を学ぶ。 よりよい社会を実現するために大切なことは何かについて考え、社会の問題に目を向け、社会参画への意識を高めようとする実践意欲と態度について学ぶ。	
		23 よりよく生きる喜び 24 希望と勇気, 克己と強い意志	人がもつ弱さや醜さを見つめ、それを乗り越えようとする力について考える。 「希望」は、私たちにどんな力を与えるのかについて考え、人間としてよりよく生きるために希望の価値を見いだそうとすることについて学ぶ。	
3	1	25 公正, 公平, 社会正義 26 公正, 公平, 社会正義 27 相互理解, 寛容 28 真理の探究, 創造	差別や偏見のない社会を実現するために大切なことは何かについて考える。 生活の中にある「さまざまな違い」を通して、「あつてはならない違い」をなくすためには、どんな考え方が大切なのかを考える。 社会で他者と共に生きるために大切なことについて考える。 真理を探究する心について考え、真理や真実を求め、好奇心をもって探究し続ける心情を知る。	授業への取り組み 提出物 行動観察 観点別評価は行わない。
		29 相互理解, 寛容, よりよく生きる喜び 30 国際理解, 国際貢献 31 希望と勇気, 強い意志 32 真理の探究, 創造	寛容の心とはどんな心かについて考え、人間のもつ醜さ乗り越え、「許す」ことの難しさを学ぶ。 他国の人と関わりながら生きていくのに大切なことは何かを考え、他国の人々を尊重し、国際貢献に努めようとする実践意欲と態度を身に着ける。 自分を高めていくことについて考え、目標をもって学び、困難を乗り越えて、よりよく生きていこうとする実践意欲と態度を身に着ける。 他者と語り合うことを通して「学び」の本質を考え、「学び」を探究することで人生を切り拓いて生きていこうとする判断力を身に着ける。	
		33 生命の尊さ 34 学びの振り返り	生命の尊さについて考え、生命を尊ぶ実践意欲と態度を養う。 1年間の道徳で学んだことを振り返り、これからの自分の生き方について考えを深める。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
総合的な学習の時間		2（70時間）	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
なし	

1. 学習の目標

積極的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解している。	実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら積極的に社会に参画しようとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	国際理解教育	クラスを2つに分け、英語圏のネイティブ教員と日本人教員によるティームティーチングを行う。 これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で、言語活動に専念するのではなく、言語を通して異文化理解につとめる。	授業への取り組み 提出物 行動観察
	5	国際理解教育	これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で、言語活動に専念するのではなく、言語を通して異文化理解につとめる。	
	6	国際理解教育	これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で、言語活動に専念するのではなく、言語を通して異文化理解につとめる。	
	7	国際理解教育	これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で、言語活動に専念するのではなく、言語を通して異文化理解につとめる。	
2	9	国際理解教育	これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で、言語活動に専念するのではなく、言語を通して異文化理解につとめる。	授業への取り組み 提出物 行動観察
	10	国際理解教育 平和教育 （修学旅行関連 ：35時間）	これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で、言語活動に専念するのではなく、言語を通して異文化理解につとめる。 平和や伝統文化について学習し、集団の中での立場や責任を学ぶことを目的として、京都・奈良・広島を4泊5日で巡る。 1. 事前学習 ① レポートの作成 「戦争と平和について」「世界遺産について」のレポートを作成し、修学旅行にむけての意識を高める。 ② DVD鑑賞 見学地の歴史的背景に関するDVDを鑑賞し、知識を深める。 2. 実行委員の発足 ① 目標や規則など、よりよい修学旅行になるよう、自分たちで考え、行動できるようにする。	

			3. 修学旅行の実施, 班別自主行動 ① マナーを守る, 集団生活における協調性重んじ, 自分の役割を果たすことができるようにする。 ② 班員で協力し, 計画通りに行動することができるようにする。 4. 事後学習 修学旅行新聞の作成	
	11	国際理解教育	これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ, コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で, 言語活動に専念するのではなく, 言語を通して異文化理解につとめる。	
	12	国際理解教育	これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ, コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で, 言語活動に専念するのではなく, 言語を通して異文化理解につとめる。	
3	1	国際理解教育	これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ, コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で, 言語活動に専念するのではなく, 言語を通して異文化理解につとめる。	授業への取り組み 提出物 行動観察
	2	国際理解教育	これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ, コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で, 言語活動に専念するのではなく, 言語を通して異文化理解につとめる。	
	3	国際理解教育	これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ, コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で, 言語活動に専念するのではなく, 言語を通して異文化理解につとめる。	

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。